



デュオ居室用出窓(LSB220型・LSL220型) (本体)

取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。※  内は、ロットNo.表示位置を示します。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

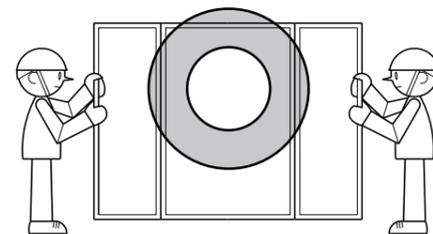
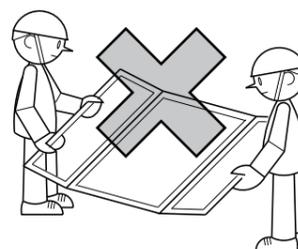
▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- 出窓の前倒れなどにより障子が脱落する原因になりますので、下記事項をお守りください。
 - ・柱・窓台・間柱は室外側を面一にしてください。
 - ・間柱は、下枠補強材の補強ブラケット位置に合わせて設置してください。
 - ・下枠補強材と開口部との間にすき間のないよう固定してください。
 - ・シャッターボックスは必ず奥まで差込んでください。
 - ・障子の建込み、建付け調整後、必ず外れ止めを上げてください。
 - ・必ず45×100mm以上の窓台(敷居)・まぐさ・45mm厚以上の間柱(ピッチ500mm以下)で開口部を作ってください。
- 本製品は、複層ガラス使用の場合組立て後の重量は最大30kg(シャッターボックスを含めると45kg)になります。施工は、対応する人数で行ってください。思わぬケガをするおそれがあります。
- 漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・躯体と出窓の取合わせ部には防水テープ(別売り)を張ってください。
 - ・外壁施工後、躯体と出窓の取合わせ部には必ずシーリングをしてください。
 - ・シャッターボックスまわりのシール材は絶対にはがさないでください。
 - ・シャッターボックスは必ず奥まで差込んでから固定してください。固定位置に躯体がない場合は、先に躯体を造作してください。
 - ・外壁は52mm以下に仕上げてください。
 - ・出窓下部に造り付け収納部を作らないでください。
 - ・縦枠フィンとシャッターボックスフィン・下枠補強材フィンの境目に防水シールを張ってください。

■取付け上へのお願い

- シャッターボックスにはしごをかけたり、のったりしないでください。傷・変形の原因になります。
- 組立て後の運搬は、必ず出窓を立てた状態で行い、枠の接合部に無理な力をかけないでください。変形するおそれがあります。
- テーブル板に衝撃を与えないでください。割れ・欠けなどの原因になります。
- テーブル板保護のため、テーブル板梱包用ダンボールで養生してください。
- 断熱材はぬれると製品に悪影響を及ぼすおそれがあります。取付け後養生しておくか、テーブル板取付け時まで保管しておいてください。
- ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたり傷ついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
- 樹脂部材ねじ止めの際は、締めすぎないでください。樹脂が割れたり、ねじが貫通したりするおそれがあります。
- 樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。
- LSL220型には、袖パネルの設定はありません。



■取付け部品一覧表

※下表の記号は本文図中の記号を示します。間違いのないよう使用してください。

記号	㊦	㊧	㊨	㊩	㊪
名称	ナベタッピンねじφ4×30	丸木ねじφ4.1×63	皿木ねじφ3.5×32	ナベタッピンねじφ4×30	皿木ねじφ3.1×20
姿図					
使用箇所	水切り-躯体 補強ブラケット-躯体	補強ブラケット-躯体	シャッターボックス-躯体 縦枠-躯体	正面上枠-シャッターボックス	天板見切り縁-シャッターボックス
袋表示	取付け用1			取付け用2	
記号	㊫	㊬	㊭	㊮	㊯
名称	トラス小ねじ(先付)M4×10	皿木ねじφ3.1×20	薄平木ねじφ3.1×20	防水補助シール	縦枠下部防水シール
姿図					
使用箇所	シャッターボックス-縦枠	天板見切り縁-額縁 縦枠-額縁	側面下枠-テーブル板	シャッターボックスフィン-縦枠フィン	縦枠下部フィン-下枠補強材フィン
袋表示	取付け用2	取付け用3	取付け用4	-	

■取付け順序

1 開口部の確認

■取付け詳細

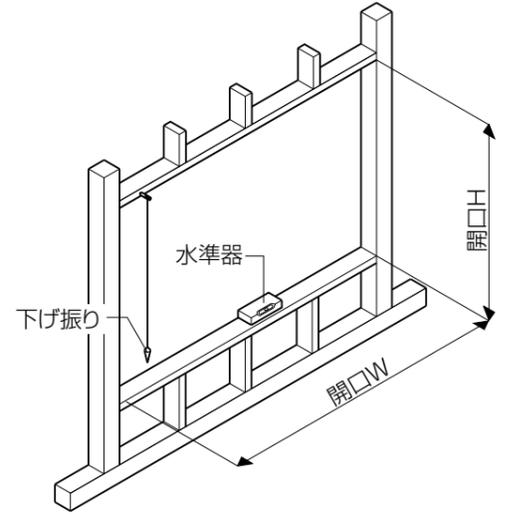
※図中の記号は、取付け部品一覧表の記号を示します。間違いのないよう使用してください。

1 開口部の確認

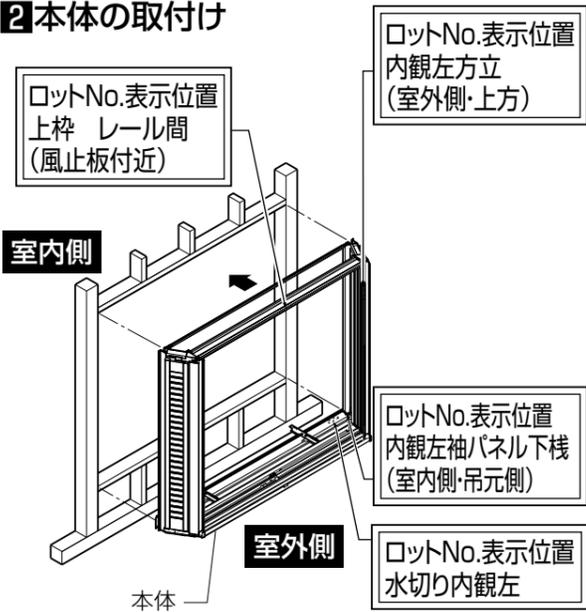
- 水平・垂直を確認し、開口部を作成します。

▲注意

- 必ず45×100mm以上の窓台(敷居)・まぐさ・45mm厚以上の間柱(ピッチ500mm以下)で開口部を作ってください。
- 柱・窓台・間柱は室外側を面一にしてください。
- 間柱は、下枠補強材の補強ブラケット位置に合わせて設置してください。



2 本体の取付け



2 本体・シャッターボックスの取付け

- ①本体を開口部に差込み、補強ブラケット・水切り・縦枠(室外側)の順で躯体に固定します。
- ②シャッターボックスを本体に差込み、躯体に固定します。
- ③上枠とシャッターボックスを固定します。
- ④天板見切り縁とシャッターボックスを固定します。

※LSL220型出窓はシャッターボックスを本体に差込み後、㊦ねじで本体と固定し躯体に固定します。

【図1】

- ⑤縦枠フィンとシャッターボックスフィンの境目に㊧防水補助シールを張ります。【図2】

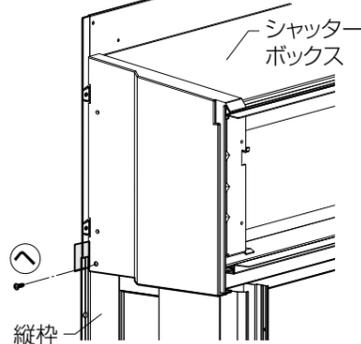
- ⑥本体を躯体に取付けた後、㊨縦枠下部防水シールを張ります。【図3】

※コーナー部にすき間ができないように十分押付けて張ってください。

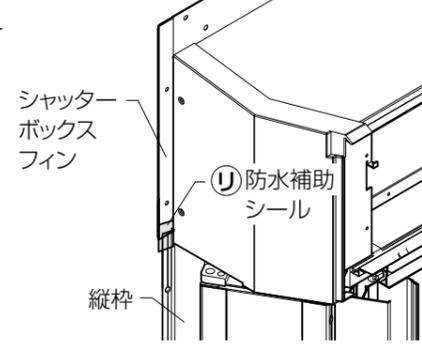
▲注意

- 縦枠フィンとシャッターボックスフィン・下枠補強材フィンの境目に防水シールを張ってください。

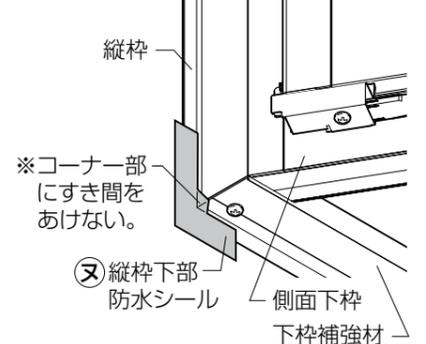
【図1】



【図2】



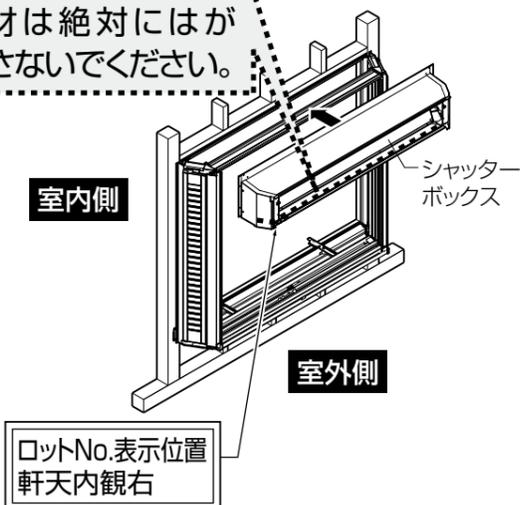
【図3】



3 シャッターボックスの取付け

▲注意

- シャッターボックスまわりのシール材は絶対にはがさないでください。



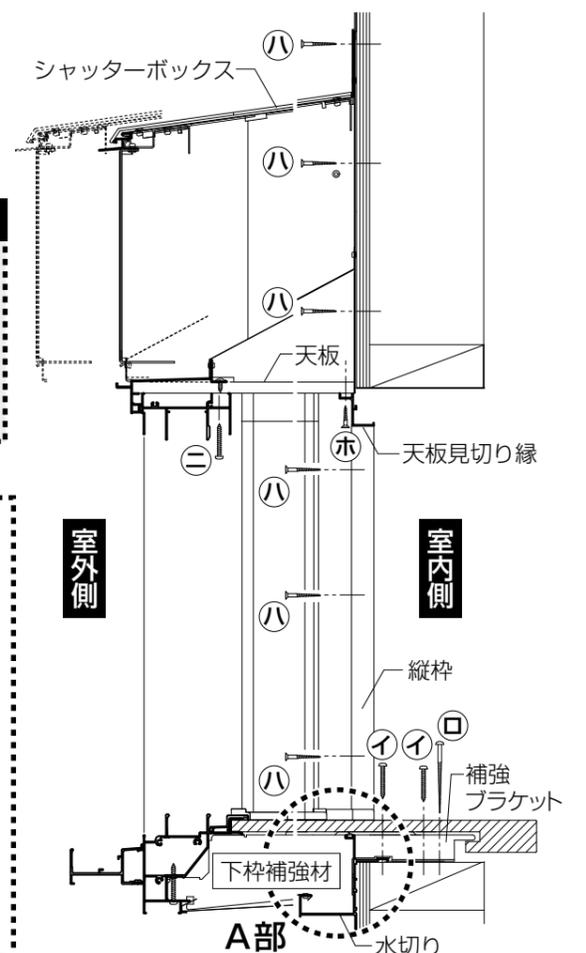
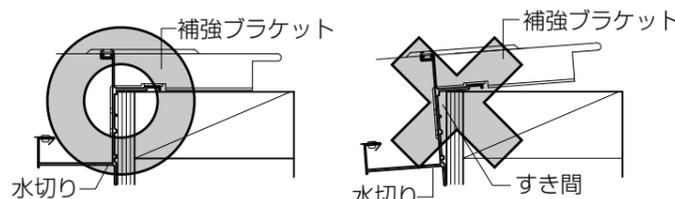
▲注意

- シャッターボックスは必ず奥まで差込んでから固定してください。固定位置に躯体がない場合は、先に躯体を造作してください。

■A部詳細図

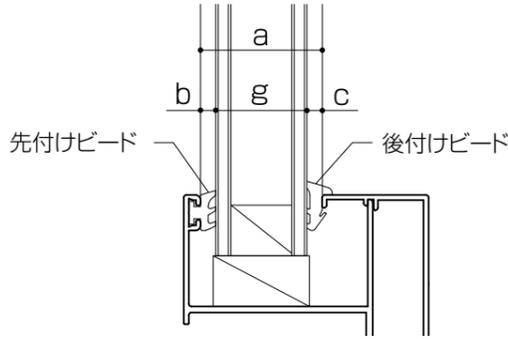
▲注意

- 下枠補強材と開口部との間にすき間のないよう固定してください。



4 側面FIXガラスの建込み
目隠しパネル(別売り)の建込み
(LSL220型で使用する場合のみ)

4 側面FIXガラスの建込み / 目隠しパネル(別売り)の建込み (LSL220型で使用する場合のみ)
■FIX部ガラスビードの使用区分



■PG (複層ガラス) / a=24		先付けビード (b)	後付けビード(c) (別売り)	
ガラス厚(g) (mm)	ガラス構成			
12	3-6-3	3	9	
13	3-6-4		8	
14	3-6-5 4-6-4		7	
15	4-6-5		6	
16	3-6-6.8 5-6-5		5	
17	4-6-6.8 5-6-6		4	
18	5-6-6.8 3-12-3		3	

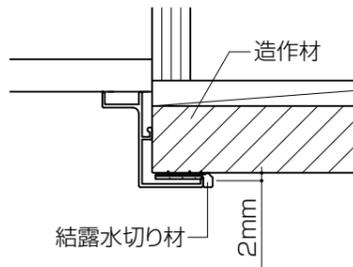
※後付けビードの押し込みがきつい場合は、後付けビードを100mm程度に切断して上押縁・縦押縁・下枠の四方に入れ、押縁とガラスのクリアランスを確保してから押し込んでください。
※目隠しパネルの厚さは、18mmとなります。

■結露水切り材(別売り)の取付け(使用する場合のみ)

※造作材(仕上げ材)は、結露水切り材の厚みを考慮した寸法にしてください。

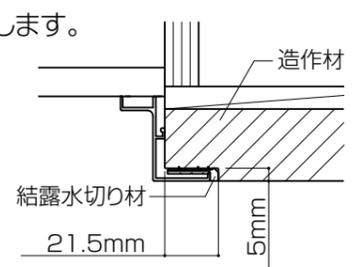
●加工できない場合

(ウッディーライン・化粧合板など)

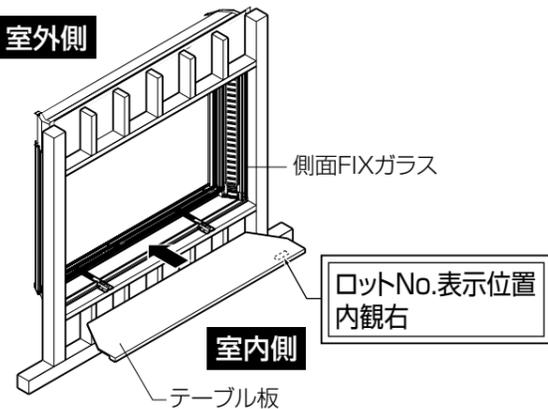


●加工できる場合

※出窓枠と造作材を同一面に納める場合は、下図の寸法とします。



5 テーブル板の取付け



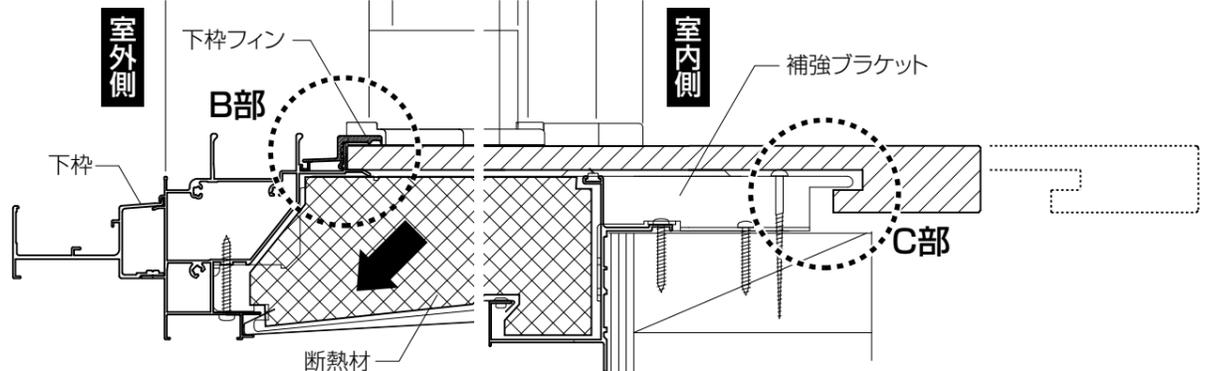
5 テーブル板の取付け

①テーブル板を差込む前に断熱材を下枠の奥まで押し込んでください。

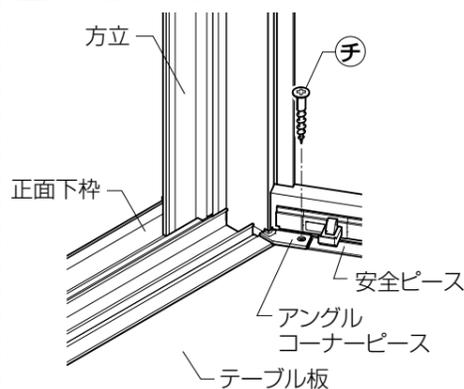
断熱材がテーブル板にはさまれるおそれがあります。

②下枠フィン・補強ブラケットにテーブル板の両端を上から押えながら差込んでねじ止めします。

※ねじはあまり締めすぎないでください。部品を变形させるおそれがあります。

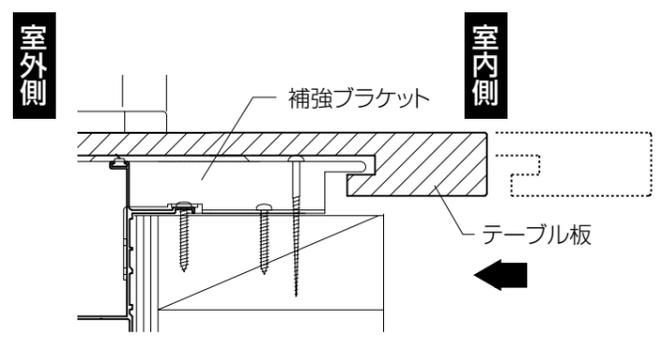


■B部詳細図



■C部詳細図

※テーブル板は補強ブラケットに必ず引っ掛けてください。



6 造作材(仕上げ材)と縦枠・天板見切り縁の固定

7 障子の建込み

8 建付け調整

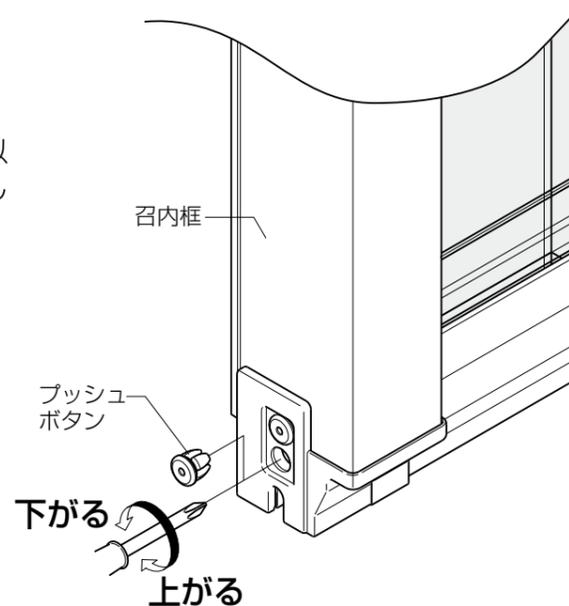
8 建付け調整

■戸車調整

- プッシュボタンをいったん外して調整します。
(調整後は、プッシュボタンを押込んでください。)
- ※出荷時、障子は下がった状態にしております。それ以上は下がりませんので、上げたい場合のみ戸車調整してください。

・お願い

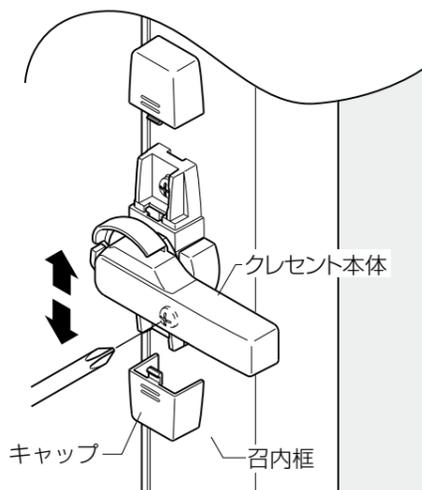
※召外下部を調整した場合は、召外下部気密ピースも調整してください。(障子を閉めた状態で部品を上げてすき間をなくします。)



■クレセント調整

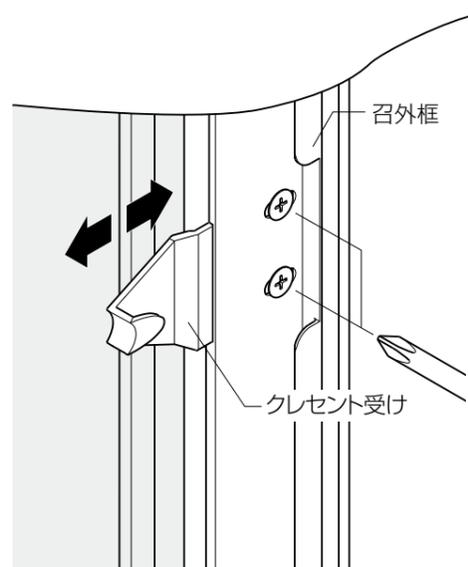
【上下方向の調整】(クレセント本体)

- ①キャップを外します。
 - ②プラスドライバーでねじを緩めてクレセント本体を上下に動かします。
- ※調整後はしっかりねじを締めて、キャップをしてください。



【左右方向の調整】(クレセント受け)

- プラスドライバーでねじを緩めてクレセント受けを左右に動かします。
- ※調整後はしっかりねじを締めてください。



■外れ止め調整

- プラスドライバーでねじを緩めて外れ止めを上げます。
- ※調整後はしっかりねじを締めてください。

▲注意

- 障子の建込み・建付け調整後、必ず外れ止めを上げてください。

